「これから学びの場をつくる人たちへ。障がいのある人たちは、こどものように小さい世界で生きている人が多くいます。だから、少しでも世界が拡がるように、いろいろな人と出会えるドアを開けてもらえたらいいなと思います。」

（第4回関係者ミーティング：「学びの会☆大反省会」での百瀬さんの言葉）

当初企画

OPEN講座	科学実験教室	中止
	おしゃべりながだ	中止
	会話する音	変更
	ペガーボール体験会ボランティア	中止
	福島保養ボランティア　春	中止
	福島保養ボランティア　秋	中止
	続々・選挙に行くってそういうことか	変更
	つながるフェスタ2021	変更
CLOSED講座	わたしのトリセツ2	変更
	リアルおままごと	変更
超大学	①大学	
	②大学	
	③地域の関係者	中止
連携協議会	①関係者ミーティング	
	②関係者ミーティング	
	③関係者ミーティング	
WG	①ワーキンググループ	
	②ワーキンググループ	
成果報告会		中止

変更後

OPEN講座	わたしでOO！This is me！	動画公募
	勝手に検討会　障害者計画編 ・障害者計画ってなあに？ ・障害者基礎調査をやってみよう！ ・障害者基礎調査報告書をみてみよう！ ・特別定額給付金、申請できるかな？ ・障害者計画懇談会を復活しよう！ ・障害者計画素案説明会をひらこう！	
	オンラインってそういうことか！ ・つながるフェスオンライン編(Zoom配信) ・つながるフェスTV編(YouTube配信) ・つながるフェスタ2021編(オンライン開催)	オンライン オンライン オンライン
CLOSED講座	①くらしのちくはぐ研究室	
	②くらしのちくはぐ研究室	
	③くらしのちくはぐ研究室	
	④くらしのちくはぐ研究室	
	⑤くらしのちくはぐ研究室	
超大学	①上智大学総合人間科学部社会福祉学科　春学期	オンライン
	②上智大学総合人間科学部社会福祉学科　秋学期	オンライン
連携協議会	①関係者ミーティング	
	②関係者ミーティング	オンライン
	③関係者ミーティング	オンライン
	④関係者ミーティング	オンライン
	①ワーキンググループ	オンライン
	②ワーキンググループ	オンライン
	③ワーキンググループ	オンライン
その他（成果普及・周知活動）	「超福祉の学校2020オンライン」出演	
	「つなフェスオンライン・つなフェスTV」出演	
	「共に学び生きる共生社会コンファレンス関東甲信越ブロック」出演・YouTube配信	
	「第3回障害のあると芸術文化活動に関する大見本市まなぶSOUP」出演	
	nerimanabi.jp 地域で支える学びのデモホームページ作成	

＼ OPEN講座 ／

いろいろな人とのコミュニケーション機会を生むために、誰もが参加できるよう窓口が開かれたプログラム。元々は一般参加を募るイベント型の企画が多かったが、今年度はオンライン開催できるものを中心に実施。

実施プログラム

「わたしってOO！This is me！」講師：片岡祐介（音楽家）
　11月~2月動画公募・制作
「勝手に検討会 障害者計画編」協力：練馬区福祉部障害者施策推進課
　4月4日　障害者計画ってなあに？ 障害者基礎調査をやってみよう！
　5月31日　障害者基礎調査報告書をみてみよう！
　6月7日　特別定額給付金、申請できるかな？
　11月13日 障害者計画懇談会を復活しよう！
　1月9日　障害者計画素案説明会をひらこう！
「オンラインってそういうことか！」後援：練馬区地域文化部協働推進課
　11月16日 つなフェスオンライン編(zoom配信)
　11月30日 つなフェスTV編(youtube配信)
　1月30日　つながるフェスタ2021編(オンライン開催)
　「オンラインってそういうことか！」動画プレイリスト▶

＼ ワーキンググループ〈連携協議会〉 ／

アドバイスなどの意見をもらうだけに留まらず、それぞれのワーキンググループメンバーと一緒に取り組む事業やイベントがでてみたことで、状況や目的の共有がより進んだ中で話し合いができている。相談役であったり、アイディアを試し打ちする壁役であったり、考えを深めたり、言語化する手助けであったり、事業にとってはもちろんだが、孤立してしまいがちなコーディネーターを支えることがワーキンググループの大切な役割のひとつとして3年目に立ち上がってきた。

実施プログラム

6月9日　学びの会の近況共有
　昨年度事業の振り返り
　今年度事業の内容確認
　今後のスケジュール・プログラムの検討や調整
　オンラインを活用した学習手法の検討
　成果報告のしかた
10月1日 進捗しているプログラムの経過報告と今後に向けた議論
　今後のプログラムの内容とアイディアだし
　報告書のまとめかた
2月2日　進捗しているプログラムの経過報告と今後に向けた議論
　コーディネーターのあり方に関する検討
　報告書のまとめかた

＼ CLOSED講座 ／

障がいのある人たちに参加を限定することで、彼らのペースに合わせた学びを生むプログラム。本人たちが疑問を感じることや、気になることなどを出発点としたプログラムを、彼らとともに作成、実施している。過去2年間の事業実施から、当事者は実生活に関連することへの関心が高いことがわかってきたため、暮らしにまつわる諸々を切り分けずに扱っていける枠組み「くらしのちくはぐ研究所」として一本化した。

実施プログラム

「くらしのちくはぐ研究室」
講師：柏木陽（演劇家、NPO法人演劇百貨店代表理事）
　10月25日・11月22日 みんなでくらしのちくはぐを出してみよう
　12月12日・13日 みんなで場をじょう
　2月21日（事外編）障害者計画のちくはぐを話しあおう
「くらしのちくはぐ研究室」制作動画プレイリスト（8本）▶

＼ 関係者ミーティング〈連携協議会〉 ／

「関係者ミーティング」として令和元年度から継続している会議体を、連携協議会と同等機能をもつ機関として位置づけている。継続的な呼びかけの結果、現在までに東京都練馬区と連携する障がい者の生涯学習に関連する主な団体が定例参加している。具体的には、練馬区教育委員会が事務局を主る心身障害者青年学級、区内にあるすべての地域活動支援センター（4か所）のほか、ねりま若者サポートステーションや練馬区社会福祉協議会ボランティア・地域推進センターである。令和2年度は、7月3日、9月16日、12月4日、2月20日に定期開催し、いずれも責任・管理者の立場の方々と主に2つのテーマで議論してきた。一つは、生涯学習ノウハウの交換である。コロナ禍において学びを止めざるを得ない団体が多かった中で、どのようにフォローアップをするのか、再開に向けて何をすべきか、オンラインをどのように活用するのか、を情報交換してきた。結果、各団体が新たなオンライン活用の方向性を見いだし、緊急事態宣言が再発令されても学びを維持できるようになっている。もう一つは、障がい当事者が地域の中で学びあえる場を可視化するためのウェブサイトの構築に関する事業相談である。「ここのがっこnerima（仮称）」というウェブサイトに、区内各地に点在する学びの場を掲載し、当事者が継続的に学びを楽しむ入口をつくる事業である。その構築にあたり協働を呼びかけ賛同いただいたことで、令和3年度の事業につながっている。なお、学びの会は、当事者を中心にした学びの設計を重視していることから、関係者ミーティングでも当事者が関われる工夫をしている。7月、9月の会はミーティングを録画し、後日当事者とともに視聴。12月には当事者から学びの活動を報告してもらったり、2月には当事者とともに今年一年の学びを振り返る「大反省会」を開催し、一緒に学び場をつくる動きを加速している。

7月3日、9月16日、12月4日、2月20日
参加団体
　練馬区教育委員会事務局春日町青少年館 障害者青年学級
　石神井障害者地域生活支援センター　ういんぐ
　豊玉障害者地域生活支援センター　きらら
　光が丘障害者地域生活支援センター　すてっぷ
　大泉障害者地域生活支援センター　さくら
　ねりま若者サポートステーション
　練馬区社会福祉協議会 ボランティア・地域推進センター

＼ 超大学 ／

今年度は春・秋と2回にわたり、オンラインにより実施。事前準備として、アイスブレイクのテーマや学生さんに聞いてみたいことをミーティングで話し合って決め、オンラインということで交流がスムーズにいくような小道具を自作した。大学に行くという選択肢を持ちえなかった彼らがからこその鋭い観点から、大学に行くことの意義や実際に得ている学びについて、大学生らに問いかけた。「障がい者」という先入観で、遠慮までどのような配慮をすべきかと考えていた学生いたようだが、終わってみれば「いろんな人とつながって、世界が拡がっているのが大学なら、わたしたちのi-LDKと大学は同じですね」という障がい当事者の感想に、「学びの場は大学だけではないということを学んだ」という感想を抱く学生もいた。

実施プログラム

上智大学生とオンラインで超大学
　7月1日　コーディネーターと障がい当事者による講演＋質疑応答
　　「活動紹介／障がい者がはたらくということ／わたしとi-LDK」
　11月11日 グループにかかわってアイスブレイク＋学生さんに聞いてみよう！
　　「大学に入ってよかったことは何ですか？」
　　「履歴書に学歴を書かなくても大学に行きますか？」

＼ その他〈成果普及・周知活動〉 ／

活動や考え方の普及に関係するその他の取り組み、イベント出演など
　9月5日「超福祉の学校」出演
　　（主催：文部科学省／共催：NPO法人ピープルデザイン研究所）
　11月16日・30日「つなフェスオンライン・つなフェスTV」出演
　　（後援：練馬区地域文化部協働推進課）
　1月17日「共に学び、生きる共生社会コンファレンス関東甲信越ブロック」発表
　　YOUTUBE配信
　　（主催：一般社団法人一般社団法人みんなの大学校／共催：文部科学省）
　2月7日「第3回 障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市
　　きいて、みて、しって、オンライン見本市 まなぶSOUP」出演
　　（主催：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局）
nerimanabi.jp　地域で支える学びの場のデモホームページ作成

＼ 2020年度総括 ／

3月をもって2020年は「2年に1度の大反省会」をCLOSED講座と、後期ねりまでの学びを通じて見えてきたOPEN講座、さらに「超福祉の学校」の両者が共同で企画する講座を「事外編」として開催しました。

コロナ禍という特殊な状況下において、「学びの会」としてどのような役割を果たすのか、という問いを常に自問しながら、「学び」の場を、「人と人とのつながり」を、「安心して集まれる場」として保つことを目的として、試行錯誤しながら、オンラインを活用した学びの場を作ってきました。

「コロナ禍だからこそ学びの機会が必要だ！」と考え、事業を立ち上げ、「まるのがっこ」での3年の活動を経て、2017年11月にNPO法人障がい児・者の学びを保障する会が発足、保護者、元教員、福祉関係者、弁護士、研究者などで構成される理事メンバーが、知的障がいのある当事者を中心に、様々な学びの機会を創出する活動を展開している。

理念
NPO法人障がい児・者の学びを保障する会は、様々な学びの機会づくりを通して、誰もが人との関わりのなかで、発達と学習ニーズに合わせて学べる教育を創造し、豊かな選択肢があり、自分らしく生きられる社会の実現をめざします。

「これから学びの場をつくる人たちへ。障がいのある人たちは、こどものように小さい世界で生きている人が多くいます。だから、少しでも世界が拡がるように、いろいろな人と出会えるドアを開けてもらえたらいいなと思います。」

（第4回関係者ミーティング：「学びの会☆大反省会」での百瀬さんの言葉）

コロナ禍という特殊な状況下において、「学びの会」としてどのような役割を果たすのか、という問いを常に自問しながら、「学び」の場を、「人と人とのつながり」を、「安心して集まれる場」として保つことを目的として、試行錯誤しながら、オンラインを活用した学びの場を作ってきました。

「コロナ禍だからこそ学びの機会が必要だ！」と考え、事業を立ち上げ、「まるのがっこ」での3年の活動を経て、2017年11月にNPO法人障がい児・者の学びを保障する会が発足、保護者、元教員、福祉関係者、弁護士、研究者などで構成される理事メンバーが、知的障がいのある当事者を中心に、様々な学びの機会を創出する活動を展開している。

理念
NPO法人障がい児・者の学びを保障する会は、様々な学びの機会づくりを通して、誰もが人との関わりのなかで、発達と学習ニーズに合わせて学べる教育を創造し、豊かな選択肢があり、自分らしく生きられる社会の実現をめざします。

CLOSED
OPEN

令和2年度「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」
社会（地域・福祉・企業の連携システム）が支える、
学校教育終了後から生涯にわたる継続的な学びの実践研究事業
～コミュニケーション経験を基盤とする生活・就労支援プログラムの構築～

報告書 探

発行日：2021年2月28日
発行者：NPO法人障がい児・者の学びを保障する会
代表理事　大森梓
住所：東京都練馬区高松2－15－18
E-mail：hello@npo-manabinokai.com
ホームページ：http://npo-manabinokai.com

【NPO法人障がい児・者の学びを保障する会】
大森梓　　永田三枝子　栗林潤
永野佑子　　住吉玲以子　山下洋兄
齋藤恵里子　工藤高宏　大森直哉
（i-LDK実行委員会）
飯嶋賢太郎　原田奈津紀　百瀬賢太郎

【ワーキンググループメンバー（五十音順）】
笠原千絵（上智大学総合人間科学部社会福祉学科准教授）
片岡祐介（音楽家）
坂本文武（一般社団法人Medical Studio事務局長）
鈴木一郎太（株式会社大と小とレア取締役、静岡県文化プログラム推進委員会コーディネーター）
田中真宏（NPO法人ピープルデザイン研究所）
森口弘美（天理大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻准教授）

編集・デザイン：二宮奈緒子・二宮幹（HAHAHANO LABO）

社会（地域・福祉・企業の連携システム）が支える、
学校教育終了後から生涯にわたる継続的な学びの実践研究事業
～コミュニケーション経験を基盤とする生活・就労支援プログラムの構築～

令和2年度 報告書

探

NPO法人障がい児・者の学びを保障する会